

秋田県内のブタクサ繁茂調査について (第1報)

原田 誠三郎* 笹嶋 肇* 茂木 武雄*
森田 盛大* 井谷 修**

I はじめに

晩夏から初秋にかけて飛散するブタクサ花粉は、スギやイネ科花粉とともにアレルギー性鼻炎の原因抗原¹⁾の1つである。

一方、県内におけるブタクサ繁茂調査に関する報告例はほとんど見当らない。このようなことから我々は、県内におけるブタクサ繁茂調査を実施したので、その結果を報告する。

II 調査の概要

A. ブタクサ繁茂調査月日

表1に示した。

B. ブタクサ繁茂調査地

表1に示した。

C. ブタクサ繁茂調査方法

調査地で直接ブタクサの繁茂(一部オオブタクサも含む)を確認したが、その時点で確認することができなかった場合を未確認とした。

III 調査結果と考察

ブタクサ繁茂調査は、昭和63年9月9日、12日並びに16日にかけて県内21地区を対象に実施し、表1及び図1に示す結果を得た。

第1回目の調査は、9月9日(2市8町)に県北の能代市から県中央の秋田市に近い天王町まで11地区を調査した。まず、各地のブタクサの繁茂状況をみると、能代市では、国道7号線が101号線と交差する手前の約300mから約2kmの国道沿いと市内の各地域で繁茂が確認された。また、能代市と隣接する八竜町では、7号線沿いの大曲地域から大潟村へ通じる道路を約2km入った

*秋田県衛生科学研究所 **由利組合総合病院耳鼻咽喉科

表1 ブタクサ繁茂調査結果

地域	調査月日	調査市町村名	ブタクサ繁茂状況	備考
1	63.9.9	能代市	ブタクサ繁茂確認	
	63.9.09	八竜町	ブタクサ繁茂確認	
	63.9.09	山本町	未確認	
	63.9.09	琴丘町	未確認	
	63.9.09	若美町	未確認	
	63.9.09	男鹿市	未確認	
	63.9.09	五城目町	未確認	
	63.9.09	井川町	未確認	
	63.9.09	飯田川町	未確認	
	63.9.09	天王町	未確認	オオブタクサ繁茂確認
2	63.9.12	秋田市	ブタクサ繁茂確認	オオブタクサ繁茂確認
	63.9.12	河辺町	ブタクサ繁茂確認	
	63.9.12	協和町	未確認	オオブタクサ繁茂確認
3	63.9.12	大曲市	ブタクサ繁茂確認	オオブタクサ繁茂確認
	63.9.12	南外村	未確認	
4	63.9.16	岩城町	ブタクサ繁茂確認	
	63.9.16	本荘市	ブタクサ繁茂確認	
5	63.9.16	西目町	ブタクサ繁茂確認	
	63.9.16	仁賀保町	未確認	
	63.9.16	金浦町	未確認	
	63.9.16	象潟町	未確認	

青 森 県

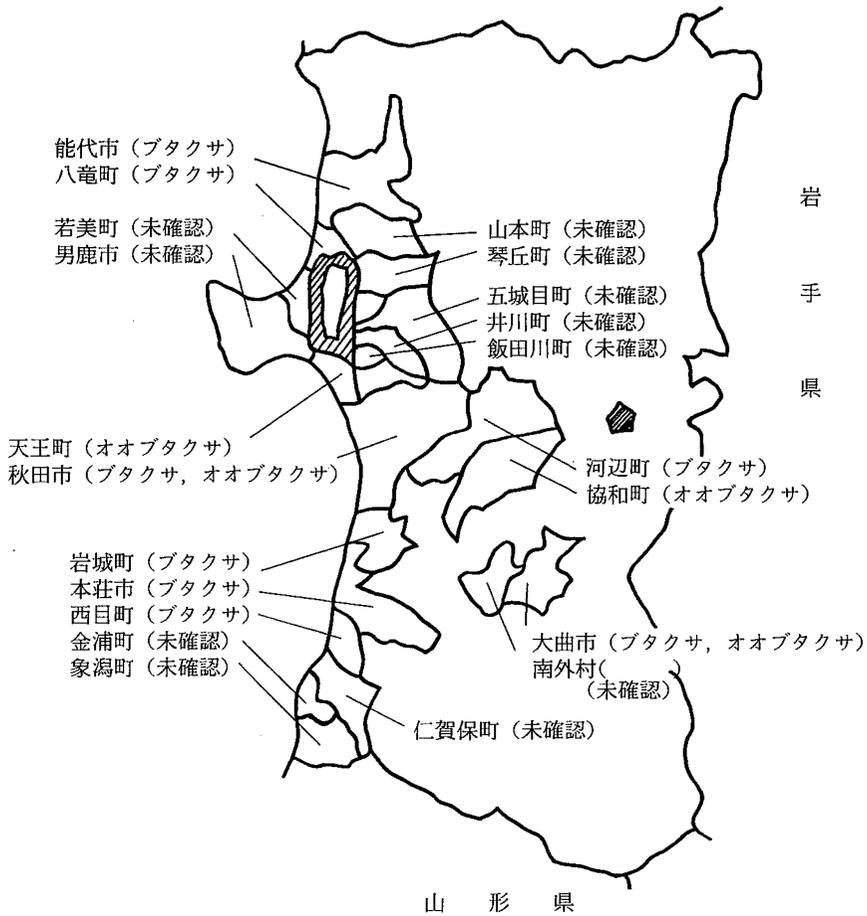


図1. 秋田県内のブタクサとオオブタクサの繁茂地区

ところの堤防に確認された。しかし、7号線沿いの山本町と琴丘町、一部国道128号線が通っている井川町と飯田川町並びに128号線と県道を主幹道路とする五城目町では確認することができなかった。また、男鹿半島の男鹿市や同市の東側に位置する若美町では確認することができなかった。しかし、若美町と秋田市に隣接する天王町では、男鹿市に通じる県道沿の数箇所にオオブタクサが確認された。次に、第2回目の調査は、9月12日に5地区（2市2町1村）で実施した。秋田市内の各地域では、多くのさら地などにブタクサとオオブタクサの繁茂が確認された。また、秋田市に隣接し国道13号線が通っている河辺町では、ブタクサが確認され、さらに、同町の隣の協和町では、オオブタクサがみられた。また、同国道をさらに南下した大曲市では、ブタクサとオオブタクサの繁茂が市内各地域のさら地や河川敷などに多数確認された。しかし、大曲市の西側に位置する南外

村では、同村へ通じる13号線沿いの神宮寺（神岡町）から同村の岩倉温泉までの県道沿いには確認できなかった。次に、第3回目の調査は、9月16日に6地区（1市5町）で行なった。その結果、秋田市から南下する7号線沿いで日本海に面した岩城町、本荘市並びに西目町の各地区では、それらの地域の数箇所にブタクサの繁茂が確認された。しかし、さらに同国道を南下した仁賀保町、金浦町並びに象潟町では、国道沿いやそれらの各地域内に繁茂は確認されなかった。

一方、ブタクサ花粉の抗原性や花粉症に関しては、奥田は²⁾、アレルギー性鼻炎の吸入性抗原の1つに同花粉を取上げている。また、宮本は³⁾、ブタクサとオオブタクサの抗原が似かよっていることを述べている。さらに、岸川たち⁴⁾の調査によれば、ブタクサ花粉症がスギ花粉症、ヨモギ花粉症、イネ花粉症につぐ順でみられることを報告している。このように、今回の調査では、花粉の

抗原性や花粉症が認められているブタクサやオオブタクサが、県内の9地区で確認された。しかし、秋田県内の各地区における同繁茂調査に関する報告例は極めて少ないことから、ブタクサとオオブタクサの繁茂地区数の増減についての把握はできなかった。

一方、前田たち⁹⁾は、ブタクサの花粉量が1965年より経年的に増加し、1974年に比べ1984年では約2倍の花粉量を観察している。しかし、我々の所で実施している花粉測定の前2年間(昭和62年、63年)の同花粉データでは、飛散数は極めて少なかった。このことは、今回の調査で繁茂地区が9箇所と少なかったことなどからも推定された。以上のようなことから、今後も県内各地区及び未確認地区の繁茂調査を実施するとともに、ブタクサ花粉の飛散状況や同花粉患者の発生動向にも注目していきたいと考えている。

IV まとめ

昭和63年の9月9日、12日並びに16日にかけて県内21地区を対象にブタクサ繁茂調査を実施し、以下の結果が得られた。

1) ブタクサ繁茂は8地区(能代市、八竜町、秋田市、河辺町、大曲市、岩城町、本荘市、西目町)で確認された。

2) オオブタクサ繁茂は4地区(天王町、秋田市、協和町、大曲市)で確認された。

3) ブタクサとオオブタクサの繁茂は2地区(秋田市、大曲市)で確認された。

稿を終えるにあたり、繁茂調査にご協力をいただきました当所主任技師の佐藤恒明氏に感謝致します。

文 献

- 1) 奥田稔, アレルギー性鼻炎. 宮本昭正, 中川武正編. アレルギー性疾患—予防と治療—. 東京: 医歯薬出版, 1985; 162—173
- 2) 奥田稔, アレルギー性鼻炎. 宮本昭正, 中川武正編. アレルギー性疾患—予防と治療—. 東京: 医歯薬出版, 1985; 162—173
- 3) 宮本昭正, アレルギーはなぜ起こるのか(A)原因と誘因. 斎藤洋三編. アレルギー. 東京: 有斐閣, 1985; 11—20
- 4) 岸川禮子たち: 日本列島の空中花粉と花粉症, 第38回日本アレルギー学会総会抄録, 432, (1988)
- 5) 前田裕二たち: 飛散アレルゲンの量とアレルギー患者の感作状態との関連について, アレルギー, No.9, 912—925 (1988)